

情報と
お知らせ

温もりを届けたい、手からこころへ.....

たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号
TEL0897-32-0302 FAX0897-32-0311

絆

お手玉を作って、癒しの心を届けよう。
ただ今、本部受付中！

札幌支部、今井幸子さんから、右のような相談をFAXでいただきました。ご紹介をさせていただきます。

本部様

FAX原本の内容です。

札幌支部 今井幸子
011-871-9723

御世話になっております
お手玉セ。個位は出来て居ります
小箱 20個位に入れています。これを大箱に
ついで送る方がないか送る居ります
今迄、四、五度震災地へ送る係へ
問合せました。が、菓子品目にも当らないと
断られてしまいました。

このお便りは、日本のお手玉の会が「お手玉を作って被災地へ届けよう」のキャンペーンを開始する頃に本部への問い合わせがあったものです。まさにグッドタイミングで、ありがたい情報でもありました。

手玉は、色合わせも見事でした。ひとはり一針丁寧に作り上げた、温もりのあるお手玉を700個も完成させたそうです。早速、支援物資を送る窓口へ幾度となく問い合わせると、支援物資の収集する品目に該当しないと断られ、迷っている時に本部へFAXを届けてくださいました。

届いた700個と愛



間なくぎっしりと詰めてあります。もったいないほどのできばえに、事務局では「わー美しい」「すばらしい」、の声をあげて喜び、感動していました。ありがとうございます。

今年の理事会、支部総会で決議された「東日本大震災の被災地へお手玉を送る」キャンペーンは、今すこしずつ準備ができていますが、沢山あればあるほど多くの被災地へお届けできます。引きつづきご協力をお願いします。

札幌お手玉同好会の佐野榮市会長さんや会員の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。

被災地へ必ずお届けいたします。

ニューカレドニア日本文化の祭り 「枝 俊男さん」と「日本のお手玉の会」との出会い。

今から、5年前2007年「日本ニューカレドニア文化友好年」に日本のさまざまな文化・芸術・音楽を通じて、日本文化の紹介と交流を目的とする「ニューカレドニア日本文化祭り」が2007年6月南太平洋に浮かぶ楽園ニューカレドニアで2日間開催されました。日本から南へ約7,000キロ、飛行機で約8時間、四国と同じ大きさの美しい島です。日本のお手玉の会は、伝承遊び文化としてこの催事に参加することとなり、全国の会員さまに参加の呼びかけをいたしました。その際、会員として参加され一緒に交流をさせていただいた方が、枝さんでありお付き合いの始まりとなりました。

コバルトブルーの海と美しいサンゴ礁、何処までも続く白い砂浜一年中咲き乱れる熱帯の花々、陽気でフレンドリーな人々、そこはまさに「天国に一番近い島」と呼ばれるにふさわしい地としても名高い国で、お手玉の会の仲間として、思い出に残る出会いから想いをはせ、このたび第63号として、「宇都宮支部」を立ち上げていただきました。

現在、子どもたちや大人まで「うつ病や自閉症」など、心を失いかけている複雑な社会、いまこそ、人との交流や絆を大切にできる一つの手段として、お手玉は魅力があると認知されて、少しずつではありますが、会員さんが増えています。

日本のお手玉の会 事務局

宇都宮に日本のお手玉の会支部が
誕生しました。ご紹介いたします。

支部の名称 宇都宮支部 「おおるり会」
(支部会長) 枝 俊男 (会員15名)
支部事務局・栃木県宇都宮市峰町597-7 (事務局) 鈴木知子

私たち、宇都宮支部「おおるり会」は、日本の伝承文化であるお手玉遊びを通して、地域や世代を超えて心のふれあう仲間つくりを行い、楽しく交流しながら健康で潤いのある生活を営み、心豊かな明るい社会の実現に寄与しようという「日本のお手玉の会」の主旨に賛同し、支部を設立しました。

全国のお手玉の会 会員の皆さま、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。

宇都宮支部「おおるり会」 会長 枝 俊男

日本のお手玉の会
個人会員の皆さま、支部会員の皆さま
会員の増強をお願いします。